

令和 5 (2023) 年度

# 新潟県文化財年報

新潟県文化課



## I 文化財保護行政の現状と課題

- 1 指定文化財 ..... 1
  - (1) 国・県の文化財の指定等について
  - (2) 保存修理事業等について
  - (3) 文化資源活用推進事業
  - (4) 今後の課題と展望
- 2 埋蔵文化財 ..... 2
  - (1) 各種届出・通知
  - (2) 文化財認定と譲与
  - (3) 埋蔵文化財保護体制
  - (4) 普及啓発事業
  - (5) 発掘調査の成果
  - (6) 課題と展望
- 3 世界遺産登録に向けた取組 ..... 4
  - (1) 登録推進の現状について
  - (2) 構成資産の保存・活用・整備について
  - (3) 気運醸成に向けた取組について

## II 事業概要

- 1 研修等事業 ..... 6
  - (1) 市町村文化財担当職員等基礎研修会
  - (2) 国・県・市町村関係機関埋蔵文化財取扱説明会
  - (3) 文化財保存活用講習会
  - (4) 市町村等埋蔵文化財担当専門職員実務研修
- 2 普及啓発事業 ..... 8
  - (1) 令和5年度新潟県埋蔵文化財公開活用事業
    - ①新潟県埋蔵文化財センターでの講演会・講座
    - ②第27回遺跡発掘調査報告会
    - ③体験学習
    - ④新潟県埋蔵文化財センターでの企画展
    - ⑤新潟県埋蔵文化財センター出張展示『One Case Museum』
    - ⑥広報パンフレット「新潟まいぶんナビ」の発行
    - ⑦出前授業・出前講座
    - ⑧国・県指定等一斉公開事業
  - (2) 新潟県の魅力ある文化財の保存・活用創造事業
    - 新潟市の歴史文化 その魅力と特徴 ～地域の宝物を知り、守り、伝える～
  - (3) 文化財交流拡大事業
  - (4) 文化・観光魅力発信事業
  - (5) 地域文化創造・発信事業
  - (6) 新潟県埋蔵文化財センター
    - ①入館者数の内訳と推移

- ②学校教育での利用
- ③展示内容
- ④来館者アンケート
- (7)埋蔵文化財等の貸出
- 3 分布・試掘確認調査事業 . . . . . 24
  - (1)概要
  - (2)調査位置図

### III 統計資料

- 1 指定文化財（令和5年度指定・登録） . . . . . 26
  - (1)国・県指定等文化財一覧
  - (2)国指定文化財
  - (3)県指定文化財、県選定保存技術
  - (4)登録文化財
- 2 文化財保全整備事業 . . . . . 34
  - (1)国庫補助事業
    - ① 県事業
    - ② 市町村等事業
  - (2)県単費事業
- 3 指定等文化財現状変更 . . . . . 36
  - (1)有形文化財、記念物の現状変更件数
  - (2)現状変更の概要（令和5年度分）
    - ①記念物（史跡）
    - ②記念物（名勝）
    - ③記念物（天然記念物）
    - ④記念物（名勝及び天然記念物）
    - ⑤記念物（天然記念物及び名勝）
    - ⑥重要文化的景観
- 4 埋蔵文化財 . . . . . 43
  - (1)グラフで見る新潟県の発掘調査状況
    - ①年度別発掘届出等件数の推移
    - ②年度別発掘届出等件数対前年度増加量
    - ③年度別緊急発掘調査費用の推移
    - ④年度別緊急発掘調査費用対前年度増加率
    - ⑤開発に伴う試掘確認調査の事業種別費用（令和5年度）
    - ⑥開発に伴う本発掘調査の事業種別費用（令和5年度）
    - ⑦開発に伴う試掘確認調査の事業原因者別費用（令和5年度）
    - ⑧開発に伴う本発掘調査の事業原因者別費用（令和5年度）
  - (2)開発事業別発掘調査届出件数
    - ①土木工事の届出（通知）件数
    - ②発掘調査の届出（通知）件数

(3)内容別発掘調査届出件数	
①開発に伴う届出内容（令和5年度）	
②発掘調査の届出内容（令和5年度）	
(4)埋蔵文化財鑑査認定件数	
(5)市町村別発掘届出件数	
5 本発掘調査一覧（令和5年度実施分）	50
6 試掘確認調査一覧（令和5年度実施分）	51
7 学術調査一覧（令和5年度実施分）	60
8 市町村別専門職員配置状況	61
9 市町村別遺跡数一覧	62
10 市町村別県帰属埋蔵文化財認定件数と出土品箱数	63
11 市町村別県帰属埋蔵文化財譲与数	64
12 帰属文化財（県発見分）の譲与一覧	65
IV 令和5年度受贈図書	66



# I 文化財保護行政の現状と課題



## 1 指定文化財

### (1) 国・県の文化財の指定等について

令和5年度の国文化財の指定等は2件あり、重要文化財 横山松三郎関係資料（高田家伝来）が指定となり、重要文化的景観 佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観において、西三川川上流に広がる砂金採取に使用した導水路跡が追加選定となった。このほか、日本舞踊の重要無形文化財への指定とともに、日本舞踊保存会の構成員56名が総合認定され、その構成員として市山流宗家 市山七十郎（新潟市在住）が認定されている。

県文化財では新たに3件の指定を行った。指定物件の内訳は、「経櫃 応永十五年銘」（宗教法人物部神社所有（柏崎市）・有形文化財（工芸品））、「新潟の衣生活資料」（新潟県所有・有形民俗文化財）、「山元遺跡出土品」（村上市所有、有形文化財（考古資料））である。

国登録文化財については、「瓢亭（旧花岡家住宅）」（新潟市）や「蔵春閣」（新発田市）など、建造物16件が新たに登録されたが、「小松酒店店舗兼主屋」（三条市）1件が登録抹消となったため、登録有形文化財（建造物）の登録件数は569件となった。

### (2) 保存修理事業等について

令和5年度は、国指定文化財では、重要文化財（建造物）の星名家住宅（十日町市）等13件の指定文化財管理事業（防災設備点検、小修理等）や、ユネスコ無形文化遺産 小千谷縮・越後上布（小千谷市・南魚沼市）の原料製作技術保存事業に対して補助を行った。

また、県指定文化財では、有形文化財（建造物）鞍掛神社（長岡市）や津野家住宅（関川村）の茅葺屋根修繕、史跡 相馬御風宅（糸魚川市）の雁木修理のほか、史跡 馬場館跡の土塁の災害復旧事業について支援した。

### (3) 文化資源活用推進事業

令和5年度から、文化資源の活用をより一層推進するため、係名を文化財係から文化資源活用推進係に改称し、地域文化のポータルサイト「新潟文化物語」の管理運営や県内外に向けて新たな文化観光を提案する「文化・観光魅力発信事業」、地域で継承されてきた文化資源を文化団体等が活用する事業を補助する「文化活動推進事業（交流拡大枠）」に取り組んだ。

また、文化財を地域総がかりで継承していく機運を醸成するため、市町村や文化財所有者等と連携して、新たに「国・県指定等文化財一斉公開事業」を実施し、県民が文化財に親しむ機会を提供した。この事業では、県が所有する重要文化財 新潟県議会旧議事堂（新潟県政記念館）も特別公開を行い、建物解説と併せて和楽器のミニコンサートを開催した。

### (4) 今後の課題と展望

県内には、国・県・市町村の指定等を受けた文化財が約3,700件存在する。これらは、県民に親しまれてきたものがある一方、あまり知られていないものや少子高齢化、過疎化、コロナ禍により継承の危機にあるものも見受けられる。郷土の貴重な宝である文化財を確実に継承していくためには、文化財の調査・研究に基づく保存・活用のサイクル（把握、周知、保存、活用）の構築が必要である。

文化財の把握については、各文化財類型について計画的に調査を実施することが必要であり、その成果を文化財指定や市町村による文化財保存活用地域計画作成、文化財保護施策立案につなげたい。

文化財の周知については、先ず県民から地域の文化財の存在や価値を知ってもらい、親しんでもらうことが必要である。今後も、文化財の公開・活用事業や「新潟文化物語」等のWebサイトを通じて、県民への積極的な情報発信や文化財に親しむ機会の提供により、文化財を地域総がかりで継承していく機運の醸成を図っていきたい。

文化財の保存については、適切な管理や周期的な修理、継承活動の継続が重要である。今後も文化財保護指導委員による経過観察を継続するとともに、研修会の開催や補助金の交付等を通じて、所有

者や管理者が文化財を適切に管理し、周期的な修理や継承活動が継続できるよう支援していく。

また、近年、多発する地震や豪雨などの災害に備え、災害時の被害調査や文化財レスキュー活動における県内自治体や関係団体等の連携体制構築を図るとともに、文化財防災対策マニュアルの作成・周知が必要である。

文化財の活用については、文化財の顕在化を図り、県民が親しむ機会を提供することで、文化財への理解を深めてもらうとともに、担い手の確保を図ることが望まれる。また、文化財をまちづくりや地域振興、観光などに活かすことで、その収益を文化財の保存に充当していく好循環の構築も必要である。今後も市町村や文化財所有者、関係者と連携して文化財の公開・活用に取り組み、地域振興や文化観光の推進につなげるとともに、市町村による文化財保存活用計画作成の支援等を通じて、保存と活用の好循環の構築を図っていきたい。

## 2 埋蔵文化財

### (1) 各種届出・通知

令和5年度の文化財保護法（以下「法」という。）の規定に関する各種届出・通知（以下「届出等」という。）のうち、土木工事及び発掘調査の状況は以下のとおりである。

#### ① 土木工事（P.47・48参照）

令和5年度の土木工事届出等の件数は472件（法第93・94条総数）であり、前年度から9件増（増加率1.9%）であった。公共事業（法第94条通知、以下「通知」という。）が173件で5件減（減少率2.8%）、民間開発（法第93条届出、以下「届出」という。）は299件で、14件増（増加率4.9%）であった。

開発種別では、通知は農業関連51件、電気ガス水道51件、道路45件で通知件数全体の85.0%を占め、届出は個人住宅135件、電気ガス水道86件、その他開発31件で届出件数全体の84.3%を占める。令和5年度の届出・通知件数は、住宅宅地が最多となった。

指示の内訳は、通知で発掘調査26件、工事立会110件、慎重工事35件、その他2件、届出ではそれぞれ0件、157件、135件、7件である。

#### ② 試掘確認・本発掘調査（P.47～60参照）

発掘調査届出件数に基づくと、令和5年度は試掘・確認調査206（令和4年度209）件、本発掘調査17（同19）件、法第92条に基づく調査8（同11）件の、全体で231（同239）件の調査が行われ、全体で8件減（減少率3.3%）である。

調査原因としては、道路、住宅・宅地、農業関連、その他開発が多いが、住宅・宅地、その他建物は、試掘・確認調査において遺跡が発見されたとしても工法の変更等により遺跡を保護し本発掘調査を回避することも多い。試掘・確認調査から本発掘調査にいたる事案の割合は道路関係が最も高い。

### (2) 文化財認定と譲与

令和5年度の文化財認定件数は138件であり、前年度から33件増加した。発見者区分は県が5件、市町村が127件、九学会連合佐渡調査委員会2件、三条考古学会研究会1件、島崎川流域遺跡調査団1件、新潟県立歴史博物館2件である。埋蔵文化財は、遺物発見届が警察に受理されてから6か月間の公告期間を経て県の帰属となるが、県では、地域の文化財は地域で守り活用するという理念のもと、地元市町村への譲与を進めている（P.65）。県発見出土文化財についても、県としての活用を計画しながら市町村の要望に対応していきたい。

出土品の保管・管理体制の整備は今後の重要な課題である。中でも有機質遺物や金属製遺物は、理化学的な保存処理を行わないと腐朽する恐れがあり、処理後も温湿度管理可能な場所で保管及び管理する必要がある。適切な保管・管理は文化財保護の基本であり、活用の前提であるとの認識のもと、所有者である地方公共団体が責任を持って取り組む必要がある。

### (3) 埋蔵文化財保護体制

県内の埋蔵文化財専門職員数（文化財所管課に配置された正規職員数（再任用職員含む））は、令和5年5月1日現在で県が19人（文化課配置及び（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団派遣）、市町村は81人（博物館配置及び他課へ異動した職員は除く）である。専門職員配置市町村数は25、配置率は83.3%（25/30）となり、全体としては前年度より1町村・3.4%減（他課への異動による）であるが、新規職員を採用した市町村が複数あり、個々の自治体では新しい世代の人材確保が進む傾向がうかがえる。また、本県における農業基盤整備事業数は減少することなく対応に苦慮する市町村が多い一方、発掘調査成果を公開・活用する取組が各自自治体で進められており、埋蔵文化財への興味・関心を醸成する機運が一層広がりつつある。

### (4) 普及啓発事業

文化課では、新潟大学附属図書館での展示や広報パンフレット「新潟まいぶんナビ」の刊行、高校生向け出前授業を実施した。また、県が策定した文化財保存活用大綱に基づき、県内市町村と共催で文化財魅力発信事業を新発田市で実施した。

令和5年度は、フォッサマグナでつながる中央日本四県（静岡、長野、山梨・新潟県）が連携して、「山の洲文化財交流事業」として企画展示・講演会等を実施した。

そのほか、新潟県埋蔵文化財センターでは、常設展示・企画展示や講演会の実施、小中学校等の校外授業の受入れに加え、キッズ考古学教室などの体験学習や、HPやSNS等による情報発信を実施した。入館者は16,529人（634人減）で、新型コロナウイルス感染拡大以前と同等の人数となった。感染症への対策をとりながら、引き続き発掘調査成果を広く公開・活用していくとともに、魅力的な活用メニューの実施、効果的な広報に努めていく。

### (5) 発掘調査の成果

令和5年度の発掘調査においても重要な成果が得られた。

魚沼市の谷内遺跡（縄文時代）は、昨年度からの継続調査で、遺構の重複が著しいものの、竪穴建物10棟のうち1軒からほぼ完全な形で複式炉を検出した。中期後葉～後期前葉の拠点的な集落の一部と推定される。

上越市の神田茨山窯跡（奈良時代：8世紀前半）では、丘陵斜面から地下式窯1基、丘陵平坦面から竪穴建物17棟等を検出した。特に注目されるのは、カマドを持つのは1号建物のみで、他の16棟はカマドを持たずやや離れた地点に重複して位置することで、前者は隅丸方形である一方、後者は方形溝で区画され、溝内には柱穴がめぐる点でも違いがある。両者には性格の違いが想定されている。

燕市の石港遺跡（古墳時代）は、昨年度に続く第2次調査を実施し、古墳前期に位置づけられる方形区画2基（1号：21×48m以上、2号：12×10m以上）が検出された。区画溝の堆積状況から板塀が巡らされていた可能性が高く、有力者層の居住域であった可能性が想定されている。

### (6) 課題と展望

土木工事の届出・通知（法93・94条）件数は、計472件で前年度比9件増となったが、過去5年は465件前後で推移しており、ほぼ横ばいを維持している。また、試掘・確認調査件数は206件で前年度比1件減、開発に伴う本発掘調査は17件で2件減となり、届出・通知と同様に大きな変化はない。緊急調査（法99条）の原因については、昨年度は農業関連が最も多かったが、令和5年度は宅地開発と順位が入れ替わった。上記2(3)で触れたとおり、今年度は埋蔵文化財専門職を新規採用する市町村が増加した。現役専門職員の中心年齢層を構成する50歳後半世代の定年退職を見据えて、計画的な職員採用と人材育成の仕組み作りなどを進める必要がある。

県が実施する普及・啓発、研修等事業では、前年度同様、市町村の協力の下、各種の取組を行った。引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら、オンライン併用での開催等の新たな手法を試みた。普及・啓発事業等による埋蔵文化財の活用は、一般県民の遺跡・遺物に対する関心を高める

とともに、開発事業者との協議を円滑に進めるためにも重要である。引き続き、発掘調査等による開発への対応とともに、埋蔵文化財の価値と魅力を分かりやすく広く伝えることが求められている。

県としては、開発部局向けに埋蔵文化財取扱説明会を開催し、埋蔵文化財保護の仕組みと必要な手続きについて引き続き周知を図るとともに、市町村の文化財専門職員を対象とした実務研修会において、様々な課題について広く情報共有し、一緒に考える場を設けていきたい。

### 3 世界遺産登録に向けた取組

#### (1) 登録推進の現状について

佐渡金銀山の世界文化遺産登録に向けた取組は、平成18年から県と佐渡市が協同で本格的に進めてきたもので、県では19年度に教育庁文化行政課に世界遺産登録推進室を設置し、その後、順次体制を強化しながら、令和5年度は11名（室長・連携調整担当2名・総務企画担当4名・調査研究担当5名）体制で佐渡市世界遺産推進課（課長・補佐・専門員・世界遺産保存係6名・登録推進係3名）と役割分担しながら各種事業を行っている。

平成22年に暫定一覧表に記載された後、関連分野の専門家で構成する「佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会」を設置し、ユネスコへ提出する推薦書案の検討・作成を進めてきた。委員に加えオブザーバーとして、世界遺産及び産業遺産に関する海外専門家も招聘し、文化庁からも指導・助言を受けながら佐渡金銀山の世界遺産としての価値の証明や構成資産の選択等について議論を深めてきた。

令和4年2月にユネスコに提出された「佐渡島の金山」の推薦書は、ユネスコによる形式審査の結果、構成資産の記述の一部に十分ではない点があるとの判断が示された。これに伴い、県は市と共に、国に協力して推薦書の作成作業を行い、令和5年1月に推薦書がユネスコに改めて提出された。その後、ユネスコによる推薦書の形式審査を経て、諮問機関であるイコモスに推薦書が送付され、学術的な見地からの審査が開始された。

令和5年度は、8月24日～30日までイコモスによる現地調査が行われ、資産の保全状況等が確認された。その後、イコモスから評価に関する状況や補足情報を求める中間報告が行われた。中間報告で要請された追加情報については、提出期限となる令和6年2月28日までに提出され、イコモスによる調査への対応は終了した。イコモスによる評価結果や勧告は、世界遺産委員会開催の6週間前に送付されることとなる。

#### (2) 構成資産の保存・活用・整備について

世界遺産登録に向け、構成資産を確実に保存し、活用するため、佐渡市が令和元年度に策定した整備計画に基づき実施する、重要文化財旧佐渡鉱山採鉱施設の大立堅坑櫓・捲揚機室棟の修理事業や金子勘三郎家等の保存修理事業、御料局佐渡支庁跡の耐震改修工事事業、西三川地区の解説サイン版面取替工事事業等を支援した。

#### (3) 気運醸成に向けた取組について

「佐渡島の金山」の世界的価値や世界遺産登録活動についての理解促進と全県的な気運醸成を図るため、「佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議」の活動の輪を広げるとともに、各種イベントの開催等を通じて、県内外への情報発信・普及啓発に努めた。

登録推進県民会議の会員団体数は、発足時（平成26年2月）の789団体から1,464団体（令和6年3月末段階）まで拡大し、各団体において現地での景観保全ボランティアなど様々な取組が行われているほか、民間支援団体「佐渡を世界遺産にする新潟の会」の協力の下、小中学校向けの「佐渡金銀山出前授業」を展開した。

また、令和5年度も県民会議総会を朱鷺メッセマリホールで開催し、240名が参加した。外部講師による講演や他県の事例紹介を通じて「佐渡島の金山」の世界遺産登録に向けた機運の醸成と、登録を契機とした持続可能な資産の保全や地域価値の向上へ取組が共有された。

「佐渡島の金山」の歴史的価値を発信する事業として、新潟市・長岡市・上越市と連携した講座を3回実施して文化遺産としての歴史的価値の発進に努めるとともに、会員企業・団体などと連携した普及啓発や、県内外のショッピングモールや観光施設のPRイベントなど、新型コロナウイルスの感染症対策を講じながら、県内外において、様々な形で「佐渡島の金山」の認知度向上を図った。

また、世界遺産登録には国際的な理解の促進が不可欠である。このため、在日外交団による地方視察ツアー（令和5年10月12日・13日）、知事によるパリでのPR（令和5年11月30日・12月1日、令和6年3月25日～27日）、外務省飯倉公館でのセミナー・レセプション（令和6年1月23日）を実施して、世界に向けた「佐渡島の金山」の価値の発信に努めた。



## Ⅱ 事業概要



## 1 研修等事業

### (1) 市町村文化財担当職員等基礎研修会

○期 日 令和5年5月24日(水) オンライン開催

○参加者 市町村文化関係事務担当 27人

○内 容

#### 【研修Ⅰ】文化財の概要

- ・文化財保護法と文化財の概要
- ・有形文化財について
- ・民俗文化財について
- ・無形文化財について
- ・記念物(史跡・名勝・天然記念物)について
- ・文化的景観・伝統的建造物群について
- ・埋蔵文化財について
- ・選定保存技術について

#### 【研修Ⅱ】文化財行政の現状

#### 【研修Ⅲ】補助金事務について

- ・国・県補助金の概要
- ・国・県補助金の留意事項

#### 【研修Ⅳ】その他

- ・「歴史まちづくり法」の概要

### (2) 国・県・市町村関係機関埋蔵文化財取扱説明会

#### 【第1回】

○期 日・会 場 令和5年7月7日(金) オンライン開催

○対象・参加者 国・県及び市町村の開発担当部署の職員  
オンライン参加：109人

○内 容

- 「新潟県における埋蔵文化財保護行政の現状と課題」
- 「開発と埋蔵文化財の取扱いについて」
- 「埋蔵文化財の活用事業」
- 「国・県指定史跡・名勝・天然記念物の現状変更等について」

#### 【第2回】

○期 日・会 場 令和5年8月8日(火) オンライン開催

○対象・参加者 国・県及び市町村の開発担当部署の職員  
オンライン参加：91人

○内 容

- 「新潟県における行政目的で行う埋蔵文化財発掘調査」
- 「発掘調査の要否等の判断基準」

「埋蔵文化財の本発掘調査に関する積算基準」

### (3) 文化財保存活用講習会

- 期 日 令和5年9月29日(金) オンライン開催
- 参加者 市町村文化財担当者、文化財保護の指導的立場にある者、その他文化財保護に関心のある者 61人
- テーマ 文化財保護にかかわる資金調達について
- 内 容
  - 講演 「文化財保護のための多様な資金調達について」  
文化庁文化資源活用課 永野 和大氏
  - 事例報告1 「ガバメントクラウドファンディングの取組」  
川崎市教育委員会事務局文化財課 小野 寿美子氏
  - 事例報告2 「文化財・寄付・クラウドファンディング  
基礎知識と成功のコツ」  
READYFOR株式会社 国兼 敏之氏
  - 事例報告3 「様々な資金調達による旧若林邸の保存活用」  
一般社団法人 佐渡古文化保存協会 業務執行理事 古玉 かりほ氏
  - 総括 「文化財保存活用のための資金調達」  
新潟県観光文化スポーツ部文化課 三ツ井 朋子

### (4) 市町村等埋蔵文化財担当専門職員実務研修

- 期 日・会 場 令和6年2月15日(木)・16日(金) 新潟県庁
- 対象・参加者 市町村等文化財担当職員 58人
- 内 容
  - 1日目
  - 研修テーマ1：近年の文化財行政をめぐる動向
    - 報告① 「新潟県における埋蔵文化財保護行政の現状と課題」  
新潟県文化課 埋蔵文化財係 渡邊 裕之
    - 報告② 「新潟県における文化資源活用の現状と課題」  
新潟県文化課 文化資源活用推進係 三ツ井 朋子
    - 報告③ 「県指定記念物台帳について」  
新潟県文化課 埋蔵文化財係 小野本 敦
    - 報告④ 「近年の県営ほ場整備事業について」  
新潟県農地整備課・農地計画課
  - 研修テーマ2：埋蔵文化財包蔵地の把握と周知化をめぐる諸問題
    - 基調講演 近世・近代遺跡の周知化について  
文化庁文化財第二課 埋蔵文化財部門 桑波田 武志氏

報告① 新発田市における埋蔵文化財の把握と周知化

新発田市教育委員会 鈴木 暁氏

報告② 津南町における埋蔵文化財の把握と周知化

津南町教育委員会 長澤 展生氏

2 日目

### 研修テーマ 3：文化財行政事務の留意点

報告① 埋蔵文化財係が取り扱う事務手続きの留意点

新潟県文化課 埋蔵文化財係 小野本 敦

報告② 文化財認定・譲与・周知化事務の留意点

新潟県文化課 埋蔵文化財係 荒木 清花

報告③ 文化資源活用推進係が取り扱う事務手続きの留意点

新潟県文化課 文化資源活用推進係 加藤 元康・高杉 晋平

質疑応答

### 研修テーマ 4：文化財保存・活用の取り組み事例

報告① 「市民と進める文化財の活用」

小千谷市にぎわい交流課 白井 雅明氏

報告② 「CF を利用した保存処理事業」

長岡市教育委員会 加藤 由美子氏

報告③ 「天然記念物の活用」

妙高市教育委員会 佐藤 慎氏

## 2 普及啓発事業

### (1) 令和5年度新潟県埋蔵文化財公開活用事業

近年話題となった遺跡や出土品をテーマに設定し、本県から出土した埋蔵文化財の活用を図り、県の成り立ちや特性を学ぶことができる各事業を実施した。

#### ①新潟県埋蔵文化財センターでの講演会・講座

新潟県埋蔵文化財センターにおいて、企画展1のテーマに合わせ、4月から11月に全11回の講演会を実施した。会場での定員は80人で、オンライン配信も実施した。全11回の会場参加者は407人、オンライン配信申込者は563人（県内313人、県外250人）であった。

また、令和5年度から、調査担当者が自ら発掘した遺跡の様子を、出土品とともにわかりやすく解説する講座を実施した。会場参加者は計82人であった。

#### a 新潟県埋蔵文化財センター講演会

回	期日	会場	内容・講師	参加者
1	4月23日 (日)		「企画展1の見どころ」 佐藤 友子氏（新潟県埋蔵文化財センター）	21人 ※配信 42人

2	5月14日 (日)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	「発掘された古代人名録(男性編)」 小林 昌二氏(新潟大学名誉教授)	47人 ※配信 61人
3	5月28日 (日)		「史跡斐太遺跡群釜蓋遺跡の発掘調査」 湯尾 和広氏(上越市教育委員会)	33人 ※配信 55人
4	6月25日 (日)		「発掘された古代人名録(女性編)」 浅井 勝利氏(新潟県立歴史博物館)	45人 ※配信 57人
5	7月16日 (日)		「はじめてのジェンダー考古学」 菱田 淳子氏(兵庫県立考古博物館)	43人 ※配信 55人
6	7月30日 (日)		「小千谷の遺跡 最前線! ~モノと地形から読み取る小千谷の特徴~」 白井 雅明氏(小千谷市にぎわい交流課)	40人 ※配信 53人
7	8月6日 (日)		「文字資料から見た越佐の地名」 相澤 央氏(帝京大学)	47人 ※配信 44人
8	8月27日 (日)		「発掘された中世文字資料から見えたもの」 前嶋 敏氏(新潟県立歴史博物館)	34人 ※配信 49人
9	9月10日 (日)		「古代の文字文化とジェンダー」 三上 喜孝氏(国立歴史民俗博物館)	37人 ※配信 50人
10	10月29日 (日)		「新潟市内から発掘された名前」 奈良 佳子氏(新潟市文化財センター)	30人 ※配信 49人
11	11月19日 (日)		「長岡市内から発掘された名前」 丸山 一昭氏(長岡市立科学博物館)	30人 ※配信 48人

## b 発掘こぼれ話

回	期日	会場	内容・講師	参加者
1	1月17日 (水)	新潟県埋蔵文化財センター	「村上市上野遺跡と奥三面遺跡群」 加藤 学氏(新潟県埋蔵文化財センター)	53人
2	2月14日 (水)	(新潟市秋葉区金津)	「上越市飯田川左岸の古代遺跡-上越三和道路事業の調査成果を中心に-」 山崎 忠良氏(新潟県埋蔵文化財センター)	29人

## ②第27回遺跡発掘調査報告会

午前中は、令和5年度調査成果報告として、(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団が令和5年度に発掘調査した遺跡のうち4遺跡の報告を行った。午後はシンポジウム「柏崎市丘江遺跡の木製塔婆からみた中世の葬送」として、柏崎市丘江遺跡の調査成果報告と講演、パネルディスカッションを行った。会場での定員は80人で、オンライン配信も実施した。

回	期 日	会 場	内 容・講 師	参加者
1	3月3日 (日)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	第27回遺跡発掘調査報告会 ○令和5年度調査成果報告 …村上市上野遺跡、南魚沼市金屋遺跡、 南魚沼市六日町藤塚遺跡、上越市下割遺跡 ○シンポジウム「柏崎市丘江遺跡の木製塔婆からみた中世の葬送」 ・柏崎市丘江遺跡の金箔が押された木製塔婆 ・「新潟県の板碑」 水澤 幸一氏 (中世考古学研究者) ・「木製塔婆からみる中世の葬送墓制」 狭川 真一氏 (大阪大谷大学) ・パネルディスカッション	55人          ※配信 84人

### ③体験学習（新潟県埋蔵文化財センターで実施）

#### a キッズ考古学教室

学年や地域が違う仲間たちと交流しながら、土器や石器などの遺物に触れ、様々な体験活動をとおして古代の人々の知恵や生活を学ぶことを目的として実施した。令和5年度も、全4回とおしての参加を条件に募集し、遺跡や歴史に興味がある小学4年生～中学1年生の14人が参加した。

第4回では、それまで学んだ成果をポスターにまとめ、作品とともに1階ホールで約2か月間展示した。

回	期 日	会 場	内 容	参加者
1	7月2日 (日)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	「縄文時代はどんな時代？ ー土器作り体験ー」	14人
2	8月1日 (火)	新潟県埋蔵文化財センター 村上市上野遺跡 縄文の里・朝日 (村上市岩崩)	「遺跡に行こう！ ー発掘と石器作り体験ー」	13人
3	10月15日 (日)	新潟県埋蔵文化財センター	「縄文人の技を体験しよう！ ー土器煮炊きと編み物体験ー」	14人
4	12月3日 (日)	新潟県埋蔵文化財センター	「学んだ成果を伝えよう ーまとめと作品展示ー」	12人
	12月4日 (月)～ 1月28日 (日)	新潟県埋蔵文化財センター	「展示会」 4回をとおして学んだ成果をまとめたポスターと、体験で作った作品を展示。	—

### b 大人向け体験会

令和5年度は、新潟県埋蔵文化財センターならではの仕事を体験し、本物の出土品を間近で観察する大人向けの体験会を平日に実施。体験会は全3回実施し、参加者は計32人であった。

回	期 日	会 場	内 容	参加者
第1回	4月26日(水)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	人面墨書土器をつくろう(1)	11人
第2回	9月6日(水)		人面墨書土器をつくろう(2)	10人
第3回	11月15日(水)		土器の拓本をとろう	11人

### c まいぶん祭り

誰でも気軽に古代の道具について触れたり、体験したりする機会を提供することを目的に、複数のコーナーを設けた体験イベントを実施した。令和5年度の参加者は、計450人であった。

回	期 日	会 場	内 容	参加者
第1回	6月4日(日)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	勾玉づくり	166人
第2回	10月9日(月・祝)		勾玉づくり、アンギン編み、縄文土器にさわろう等	284人

### ④新潟県埋蔵文化財センターでの企画展

回	期 日	会 場	内 容・講 師	見学者
1	4月21日(金)～ 12月17日(日)	新潟県埋蔵文化財センター (新潟市秋葉区金津)	企画展1 『発掘された名前』 県内出土の古代から近世までの文字資料のうち、人名・地名等について紹介。	12,254人
2	1月12日(金)～ 3月20日(水・祝)		企画展2 『発掘！新潟の遺跡2023』 (公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団が令和5年度に行った最新の発掘調査成果を出土品と写真で解説。	2,556人

### ⑤新潟県埋蔵文化財センター出張展示『One Case Museum』

新潟県埋蔵文化財センター所蔵品の出張展示を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため学外者への入館制限があり、見学者が学内関係者に限定された。

回	期 日	会 場	内 容
1	令和4年10月～令和5年9月	新潟大学附属図書館ライブラリーホール (新潟市西区五十嵐2の町)	『食から見える縄文時代』

## ⑥広報パンフレット「新潟まいぶんナビ」の発行

県内で行われる埋蔵文化財を活かしたイベントを集約したパンフレットを作成し、県民に広く周知した。また巻末特集として、春夏号では令和4年度に新たに県の文化財に指定された考古資料についてと、県の石「翡翠（ヒスイ）」についての特集記事を、秋冬号では県内で埋蔵文化財についての情報を発信している SNS アカウントについて紹介した。これらは、県内の文化施設等に設置し、観光パンフレットとして、また歴史学習の資料として活用された。

号	発行	内 容	部 数
春夏号	5月	6～9月実施のイベントと特集	5,000部
秋冬号	9月	10～3月実施のイベントと特集	5,000部

## ⑦出前授業・出前講座

### a 高校生向け出前授業

県内の高等学校で、埋蔵文化財を通じた新潟県の歴史や、埋蔵文化財保護のしくみをわかりやすく解説した出前授業を2回実施した。合計参加者は179人。

回	期 日	会 場	内 容	人数
1	9月5日(火) 9月6日(水)	県立新潟江南 高校	甦る！新潟の古代荘園	115人
2	12月19日(火)	県立加茂高校	縄文～奈良時代までの新潟県	64人

## ⑧国・県指定等一斉公開事業

地域で文化財を継承する機運を醸成するため、県と市町村、文化財所有者・管理者等が連携して文化財を10月に一斉公開し、県民から身近な文化財に親しんでもらう機会を提供した。公開事業をまとめたガイドブックやポスター、チラシを県内の文化施設等に設置した。

○期 間 令和5年10月1日(日)～31日(火)

○会 場 県内各地

○参加事業 87事業

## (2)新潟県の魅力ある文化財の保存・活用創造事業

### 新発田市の歴史文化 その魅力と特徴 ～地域の宝物を知り、守り、伝える～

○目 的 県と市町村が連携して文化財全般を対象とした見学会・講演会を実施し、地域文化財の価値を再認識し、文化情報の発信力を強化する。

○期 日 9月16日(土)・17日(日)

1日目

○会 場 新発田市民文化会館 大ホール(新発田市中央町)

○参加者 117人

○内 容 講演会・パネルディスカッション

講演会内容・講師	
講演1 「新発田市文化財保存活用地域計画について」	杉山 隆氏（新発田市教育委員会文化行政課）
講演2 「発掘調査から分かった新発田地域の歴史のはじまり」	石川 日出志氏（明治大学教授）
講演3 「新発田市の歴史遺産-景観から読み解く新発田地域の歴史」	堀 健彦氏（新潟大学教授）
講演4 「お寺、寺町を中心に」	伊藤 正仁氏（新発田市まちなみネットワーク代表理事）

2日目

○会 場 新発田市内

○参加者 35人

○内 容 まちあるき

コース内容・ガイド	
A コース「蔵春閣」 イクネスしばた→諏訪神社→清水園→蔵春閣	新発田市教育委員会文化行政課
B コース「寺町」 寺町びより→相円寺（法要・座禅）→宝光寺・浄見堂（歴代藩主肖像画等の文化財拝観、歴代藩主の墓参拝）	伊藤 正仁氏（新発田市まちなみネットワーク代表理事）
C コース「新発田城下町」 新発田市立歴史図書館→新発田城→四ノ町→御徒町	鶴巻康志氏（新発田市立歴史図書館）

### （3）文化財交流拡大事業

#### 発掘が語る地域交流 フォッサマグナがつなぐ 新潟 長野 山梨 静岡

中央日本四県サミット（静岡、山梨、長野、新潟）連携取組事業として、県の石に指定された翡翠など、各県を特徴づける文化財の交流展示を通じて、県民の相互理解を深め、交流人口の拡大や地域の活性化を図った。

##### ①企画展示

地理的につながる新潟、長野、山梨、静岡4県の交流の歴史を、遺跡出土品などの文化財で紹介。また、交流を物語たる文化財の代表格として、「新潟県の石」に指定された翡翠を大きく取り上げ、その歴史的経緯・文化的価値を県内外に発信した。

期日	会場	内容	来場者
9月9日（土） ～10月15日（日）	新潟県立歴史博物館 企画展示室	旧石器時代から古墳時代にわたる各県選りすぐりの埋蔵文化財を通じて、3万以上にわたって続く4県の交流を紹介。	4,642人

## ②記念講演会

全国的な視点から、縄文時代における多様な地域交流の様子について紹介いただいた。

期日	会場	内容	来場者
9月24(日)	新潟県立歴史博物館 講堂	「縄文時代の地域交流」 水ノ江 和同氏 (同志社大学教授)	99人

## ③ギャラリートーク

各県の担当者が一押し文化財について、地理的につながる4県の交流の歴史をふまえながら、出土品を解説した。

期日	会場	講師
9月9日 (土)	新潟県立歴史博物館 企画展示室	田村 隆太郎氏 (静岡県スポーツ・文化観光部文化局・文化財課) 岩永 祐貴氏 (山梨県観光文化・スポーツ部文化振興・文化財課)

## (4)文化・観光魅力発信事業

観光コンテンツとして活用できる県内の文化資源の掘り起こしを行い、交流人口の拡大や地域の活性化につなげるため、魚沼エリアと上越エリアの文化資源の情報発信を首都圏及び県内へ向けて行った。

- ・特設サイト「NIIGATA Culture Tourism」や公式Instagramで情報発信(リール動画22本計95.2万回再生)
- ・PR動画の配信(コンセプトムービー2本計8.8万回再生・インタビュー編2本計7.9万回再生)
- ・(公社)新潟県観光協会のHPでモデルコースの公開(方言・郷土料理・伝統芸能に関する各エリア計6コース)
- ・ハンドブックの配布(首都圏を中心に約10,000部を配布)
- ・東京、大阪でのイベント等の実施

### 文化・観光魅力発信事業の情報発信計画

	エリア名	対象市町村
令和4年度	新潟・佐渡	新潟市・三条市・加茂市・燕市・五泉市・弥彦村・田上町・阿賀町・佐渡市
令和5年度	魚沼	魚沼市・南魚沼市・十日町市・湯沢町・津南町
	上越	上越市・糸魚川市・妙高市
令和6年度	新発田	新発田市・村上市・阿賀野市・胎内市・聖籠町・関川村・粟島浦村
	長岡	長岡市・柏崎市・小千谷市・見附市・出雲崎町・刈羽村

## (5) 地域文化創造・発信事業

- 目的 地域の文化に光を当て、「文化の宝もの」を再発見する契機にするるとともに、県内の地域文化資源を広く収集し、新潟県の魅力として県内外へ発信した。
- 事業概要 ポータルサイト「新潟文化物語」の管理運営
- 事業内容 新潟の文化にまつわる特集記事の掲載（12件）  
新潟の文化を体験したレポート記事の掲載（8件）  
子ども向けのキッズページの拡充（コンテンツを10件追加し、内容を充実）  
地域文化データベースの更新（画像や内容の修正）  
サイトリニューアルに伴うリーフレットの作成（7,000部を作成し県内小中学校・文化施設などに配布）
- 「新潟文化物語」サイトのアクセス件数  
アクセス件数：ページビュー（当該サイト内のページを閲覧した件数）

年度	件数	1日平均	件数対前年度比	X	FB	YT
令和5年度	265,798	729	40.3%	5,939	784	674

※X：年度末時点のXフォロワー数

※FB：年度末時点のFacebook「いいね！」数

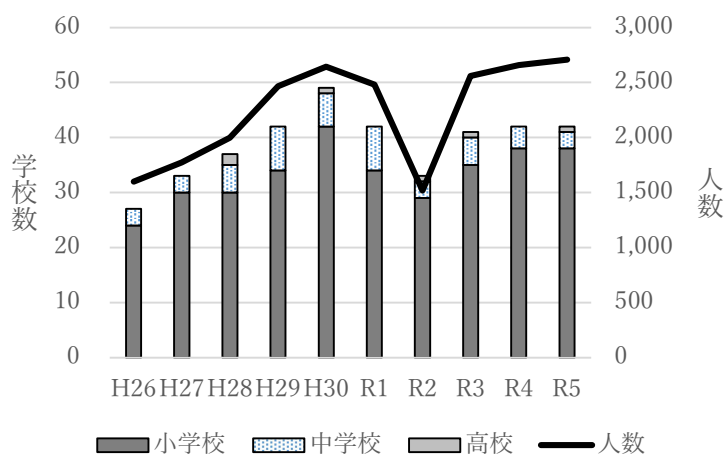
※YT：YouTubeのチャンネル登録者数

## (6) 新潟県埋蔵文化財センター

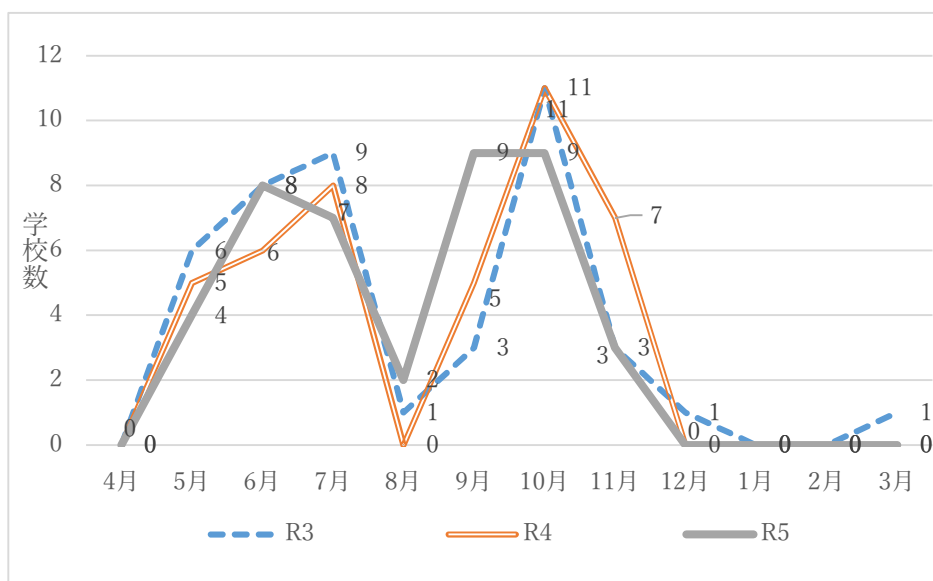
### ①入館者数の内訳と推移

年度	一般			学校関係						平日の 来館者	休日の 来館者	総計	
	団体	個人	小計	小学校		中学校		高等学校					小計
				人数	学校数	人数	学校数	人数	学校数				
8	607	3,360	3,967								1,133	2,834	3,967
9	1,490	6,712	8,202	1,177	17	172	3	91	1	1,440	3,768	5,874	9,642
10	1,336	5,801	7,137	1,350	22	444	7	75	1	1,869	4,107	4,899	9,006
11	782	2,715	3,497	2,325	30	202	5	143	4	2,670	4,285	1,882	6,167
12	553	2,734	3,287	2,598	38	426	10	0	0	3,024	3,974	2,337	6,311
13	583	2,482	3,065	2,864	39	493	13	0	0	3,357	4,498	1,924	6,422
14	418	2,776	3,194	2,964	48	350	10	50	2	3,364	4,253	2,295	6,548
15	627	2,923	3,550	2,677	44	139	7	118	3	2,934	4,247	2,237	6,484
16	622	2,833	3,455	3,126	45	97	7	0	0	3,223	4,597	2,081	6,678
17	887	3,172	4,059	2,793	48	212	8	20	1	3,025	4,868	2,216	7,084
18	1,082	2,989	4,071	3,063	46	28	4	16	1	3,107	4,928	2,250	7,178
19	1,031	3,386	4,417	3,170	53	80	8	100	1	3,350	5,323	2,445	7,768
20	626	3,365	3,991	3,435	46	84	7	0	0	3,519	5,285	2,225	7,510
21	549	3,817	4,366	2,768	43	91	8	30	2	2,889	4,694	2,561	7,255
22	501	3,503	4,004	2,565	43	277	6	6	2	2,848	4,564	2,288	6,852
23	969	2,958	3,927	2,216	33	452	14	29	2	2,697	4,242	2,382	6,624
24	839	3,693	4,532	1,688	27	574	17	0	0	2,262	3,925	2,869	6,794
25	2,702	2,101	4,803	1,593	24	264	2	50	2	1,907	3,600	3,113	6,713
26	1,386	3,934	5,320	1,559	24	40	3	0	0	1,599	3,368	3,551	6,919
27	1,190	4,033	5,223	1,740	30	34	3	0	0	1,774	3,515	3,482	6,997
28	1,126	4,376	5,502	1,926	30	30	5	42	2	1,998	3,757	3,743	7,500
29	1,182	11,315	12,497	2,195	34	269	8	0	0	2,464	9,574	5,387	14,961
30	1,722	12,637	14,359	2,586	42	42	6	16	1	2,644	10,144	6,859	17,003
1	2,920	12,209	15,129	2,431	34	50	8	0	0	2,481	9,395	8,185	17,610
2	453	12,283	12,736	1,496	25	20	3	2	1	1,518	9,379	4,875	14,254
3	810	13,235	14,045	2,420	35	101	5	36	1	2,557	10,134	6,458	16,602
4	670	13,836	14,506	2,621	38	36	4	0	0	2,657	10,741	6,422	17,163
5	1,209	12,613	13,822	2,638	38	57	3	12	1	2,707	10,821	5,708	16,529
累計	28,872	161,791	190,663	63,984	976	5,064	184	836	28	69,884	157,119	103,382	260,541

### ②学校教育での利用



校外学習実施校数の推移



月別実施校数 (過去3年間)

### ③展示内容

#### a 企画展示コーナー

##### 1 企画展1 「発掘された名前」

○会 期 令和5年4月21日(金)～12月17日(日)

○展示遺跡 見附市上田遺跡、阿賀野市腰廻遺跡、五泉市新保遺跡、長岡市五百刈遺跡、新潟市的場遺跡 等

##### 2 企画展2 「発掘！新潟の遺跡2023」

○会 期 令和6年1月12日(金)～3月20日(水・祝)

○展示遺跡 上越市下割遺跡、南魚沼市金屋遺跡、南魚沼市六日町藤塚遺跡、南魚沼市余川中道遺跡、柏崎市丘江遺跡、村上市上野遺跡

#### b 常設展示コーナー

旧石器時代～近世までの県内出土遺物を時代別またはテーマ別に展示し、新潟県の歴史を概観できるようにしている。

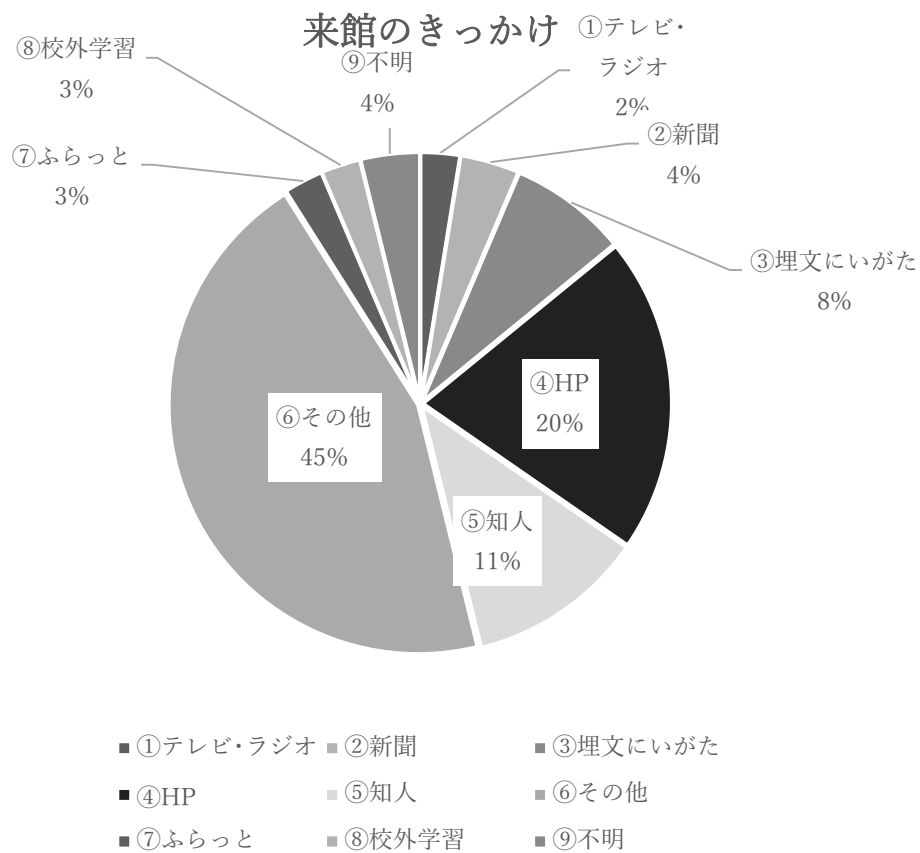
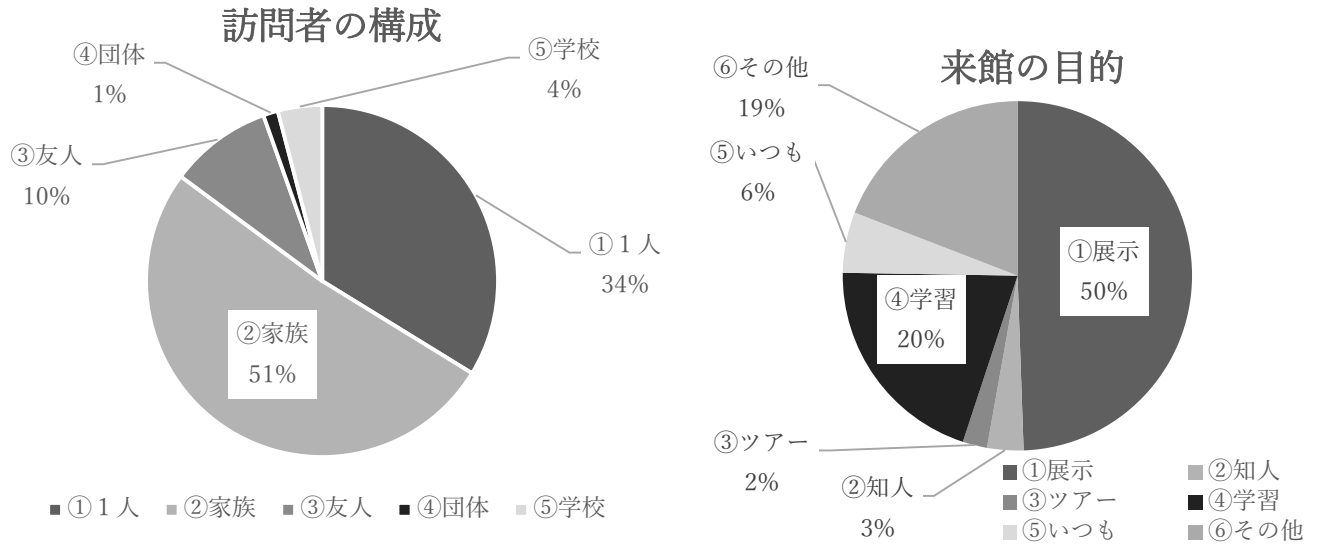
### ④来館者アンケート

年間のアンケートを集計した結果、主要な項目において次の通りとなった。

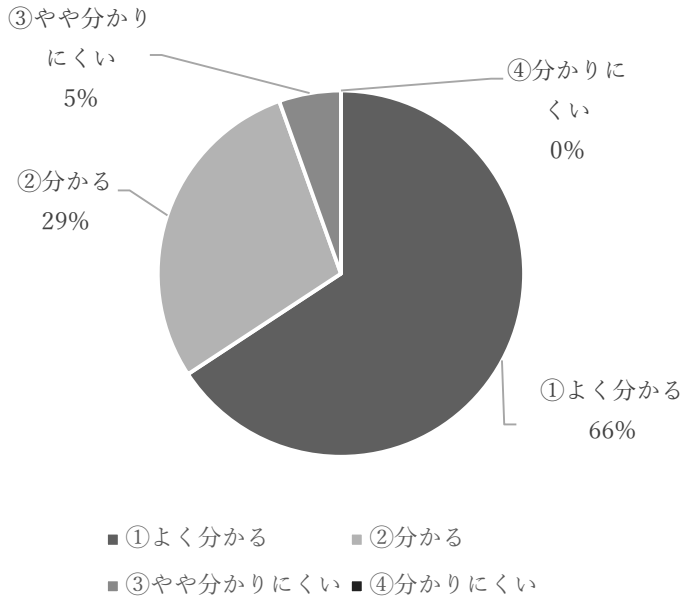
訪問者の構成は「家族」が最も多く、来館目的は「展示」の見学が最も多い。来館のきっかけは「その他」が多く、歴史に興味を持つことのためや、HPやパンフレットが契機となつての来館もあった。

展示内容・説明については、「よくわかる」「わかる」が9割以上を占め、再訪問の希望も「非常に思う」「思う」で9割以上となっている。展示については高く評価されていることがわかる。

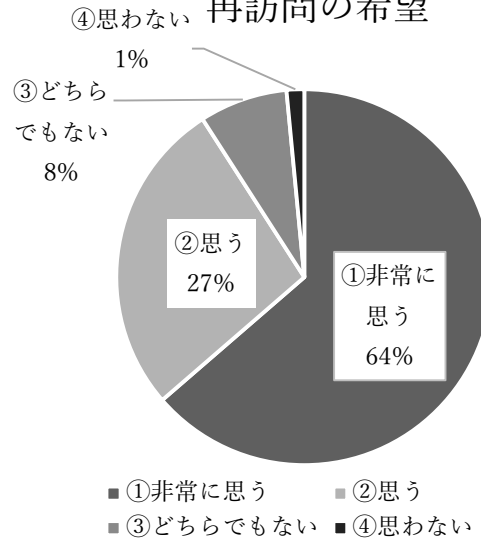
## 来館者アンケートグラフ



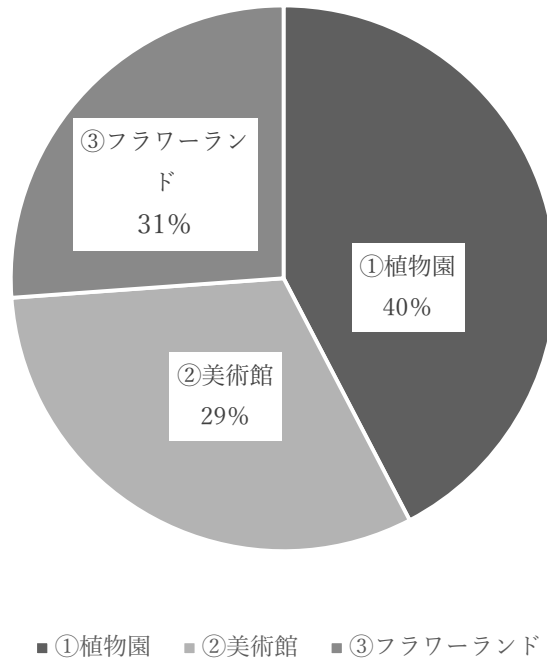
### 展示内容・展示品の説明



### 再訪問の希望



### 周辺施設への訪問



(7) 埋蔵文化財等の貸出

件数	目的	許可日	申請者	資料内容	使用目的	備考
1	貸出	令和5年3月23日	柏崎市博物館 館長 西巻 隆博	第254集「箕輪遺跡Ⅱ」(2015)の土器類14点、木簡1点 以上15点	常設展示資料とする	令和4年度の発番であるが貸出開始が令和5年度のため掲載 令和5年3月17日 博第585号
2	使用	令和5年4月3日	秋田県立近代美術館 館長 中村 隆敏	丸木弓(青田遺跡) 石斧と柱根(野地遺跡) 写真2点	特別展「縄文 小川忠博写真展」内での展示パネルに使用する	令和5年3月31日
3	使用	令和5年4月4日	福島大学共生システム理工学類 教授 木村 勝彦	第133集「青田遺跡」 柱根 合計15点 (報告書未掲載含む)	青田遺跡出土柱根の切断面を年輪酸素同位体比分析を行い、同遺跡の歴年代を明らかにするため。	令和5年4月4日
4	掲載	令和5年5月9日	ジャパン通信情報センター 編集長 芹澤 幹太	六日町藤塚遺跡の現地説明会資料1点、関連する写真7点	「文化財発掘出土情報」2023年5月号～2023年6月号「各地の動向」に掲載するため	令和5年4月26日
5	掲載・貸出	令和5年6月8日	柏崎市教育委員会 博物館長 西巻 隆博	第119集 北野遺跡Ⅰの縄文土器9点 第119集 北野遺跡Ⅰ掲載の写真3点 計12点	令和5年度柏崎市立博物館秋季企画展「鶴屋町式土器-縄文前期の土器たちが語るもの-」で展示および展示開設のパネル(写真)として使用	令和5年5月31日 博第46号
6	使用	令和5年6月12日	新潟県立歴史博物館 館長 小原 清文	大武遺跡出土縄文時代前期土器(報告書掲載外)	大武遺跡出土縄文時代前期土器(報告書掲載外)のCT分析、圧痕分析とプラントオバール分析、炭化物抽出のための一部破壊調査	令和5年5月25日 歴博第68号
7	掲載	令和5年6月19日	古小島舎 代表 野村 亮	第249集 大武遺跡Ⅱ 脚付盤か 写真1点	書籍『縄文の断片』(仮)に掲載	令和5年6月15日
8	掲載	令和5年7月7日	岡安 雅彦	第203集 庚塚遺跡 狐塚遺跡 土器 写真4点 ※申請者が撮影	書籍『日本における覆い焼きの成立と展開』(仮題)に掲載	令和5年7月3日
9	使用	令和5年07年31日	国立歴史民俗博物館 教授 坂本 稔	第133集 青田遺跡 土器7点	土器付着炭化物の起源物質の解明 電子顕微鏡による携帯観察、元素分析/安定同位体比質料分析計による炭素・窒素分析、ガスクロマトグラフィーによる残存脂質分析	令和5年7月31日
10	掲載	令和5年08月02日	小学館 児童学習局 鈴木 智恵	南押上遺跡 ヒスイ勾玉 写真1点	令和5年08月17日発行「読売こどもしんぶん」に掲載しヒスイ解説の参考資料とする	令和5年8月02日
11	貸出	令和5年8月17日	勾玉展実行委員会 執行委員長 漆原 芳彦	第249集 大武遺跡Ⅱ 翡翠勾玉工 程品、翡翠製敲石、石鋸 等 合計24点	企画展「勾玉の世界」で展示	令和5年8月12日 勾玉21号
12	掲載	令和5年8月17日 新埋第33号	勾玉展実行委員会 執行委員長 漆原 芳彦	第249集 大武遺跡Ⅱ 翡翠勾玉工 写真 18点 翡翠製敲石 写真 3点 石鋸 写真 3点 合計 24点 ※閲覧の際に撮影した写真	「勾玉の世界」展図録に掲載	令和5年8月12日 勾玉21号
13	貸出	令和5年8月17日	長岡市立科学博物館 館長 小熊 博史	第61集 萩野遺跡・官林遺跡 萩野遺跡 土偶1点 第229集 六反田南遺跡Ⅳ 土偶4点 第271集 六反田南遺跡Ⅵ 石棒1点、土偶12点、土器1点 合計19点	令和5年度長岡市馬高縄文館特別展「土偶と石棒-縄文の精神文化-」で展示	令和5年8月4日 長教博第111号

件数	目的	許可日	申請者	資料内容	使用目的	備考
14	掲載	令和5年8月17日	長岡市立科学博物館 館長 小熊博史	第271集 六反田南遺跡VI 出土 状況写真 2点	令和5年度長岡市馬高縄文館特別展「土偶と石棒・縄文 の精神文化-」の展示パネル・リーフレットに掲載	令和5年8月4日 長教博第112号
15	貸出	令和5年8月24日	文化課長	六反田南遺跡、余川中道遺跡、六 日町藤塚遺跡、大武遺跡、下馬場 遺跡、北野遺跡、一之口遺跡 71 点	令和5年度山の洲文化財交流展「発掘が語る地域交流 フォッサマグナがつなく新潟 長野 山梨 静岡」 新潟県立歴史博物館	令和5年8月24日
16	貸出	令和5年8月24日	新潟県観光文化スポ ーツ文化課長	北野遺跡、大武遺跡、六反田南遺 跡 66点	令和5年度山の洲文化財交流展「発掘が語る地域交流 フォッサマグナがつなく新潟 長野 山梨 静岡」 新潟県立歴史博物館、山梨県立考古博物館、静岡県立美 術館	令和5年8月24日
17	貸出	令和5年8月28日	新潟市文化財センター 所長 村山 明	第40集 一之口遺跡西地区、第53 集 山三賀II遺跡、第99集 堀越 館跡、第109集 箕輪遺跡、第189 集 寺前遺跡、第201集 延命寺遺 跡、第206集 西部遺跡II、第211 集 六反田南遺跡II、第228集 山 岸遺跡、第247集 小船渡遺跡、第 258集 山口野中遺跡  合計94点	企画展2「育てる・紡ぐ・織る・麻の歴史-」で展示	令和5年8月18日 新文セ第130号
18	貸出	令和5年9月4日	文化課埋蔵文化財係	第182集 岩ノ原遺跡 5点 第212集 岩ノ原遺跡II 2点 栗原遺跡 2点 その他 2点 計11点	高校生向け出前授業（江南高校）	令和5年9月4日
19	掲載	令和5年9月6日	長岡市立科学博物館 館長 小熊博史	令和2年度秋企画展「縄文の巨木 とマツリ・糸魚川市寺地遺跡-」 展示図録 土偶・顔面把手 写真 1点	令和5年度長岡市馬高縄文館秋季特別展「土偶と石棒・ 縄文の精神文化-」のリーフレットに掲載	令和5年8月24日 長教博第137号
20	貸出	令和5年10月10日	文化課長	北野遺跡 10点 清水上遺跡 16点 青田遺跡 4点 計30点	新潟県埋蔵文化財センター出張展示『one case museum』① 新潟大学附属図書館	令和5年10月10日
21	掲載	令和5年10月16日	荒川 隆史	第133集 青田遺跡 玉類 写真 1点 第220集 南押上遺跡 玉類ほか 写真 4点 第249集 大武遺跡II 玉類 写真23点 第271集 六反田南遺跡VI 玉未 成品 写真 1点 『海をわたったヒスイ展示図録』 玉類 写真 3点  合計32点	新潟県考古学会2023年度秋季シンポジウム「ヒスイ原産 地遺跡から見た縄文～古墳時代のヒスイ玉製作とその展 開」発表要旨に掲載	令和5年10月13日
22	貸出	令和5年12月07日	文化課埋蔵文化財係	第182集 岩ノ原遺跡 須恵器3点	高校生向け出前授業（加茂高校）	令和5年12月7日
23	掲載	令和5年12月11日	元興寺文化財研究所 桃井 宏和	第275集 丘江遺跡 出土木製品 (縄) 写真2点 実測図1点 三次元計測による解析図2点 合計5点	月刊考古学ジャーナル2024年1月号 考古アカデミック レポート「計測・解析から木製品の用途を推定する」に 掲載	令和5年11月24日
24	掲載	令和5年12月21日 新埋第54号	縄文の里朝日 学芸員 野田 豊文	令和5年度キッズ考古学教室展示 会の様子を撮影した写真 3点	縄文の里朝日Facebook、Xに掲載	令和5年12月15日
25	使用	令和5年12月28日	GEOTETS工法研究会 西村 ひろみ	上越市下割遺跡での矢板抜き取り 工事の写真 4点 撮影はGEOTETS工法研究会	GEOTETS工法の認知度を高めるため、GEOTETS工法研究会 ホームページに掲載	令和5年12月27日

件数	目的	許可日	申請者	資料内容	使用目的	備考
26	掲載	令和6年1月23日	中央大学 文学部 教授 小林 謙一	村上市上野遺跡焼人骨集積土坑を撮影した写真 1点 (撮影は申請者)	『中央大学文学部考古学研究室2023年度活動報告』として ホームページに掲載	令和6年1月19日
27	掲載	令和6年1月26日	高橋 保	第55集 清水上遺跡 土器 写真1点 第72集 清水上遺跡2 土器 写真3点 第233集 川久保遺跡 土器 写真1点 第271集 六反田南遺跡VI 土器 写真5点  合計10点 撮影はいずれも申請者	『新潟考古』第35号(令和6年3月下旬発行予定)に掲載される 個人研究論文に掲載する	令和6年1月25日
28	貸出	令和6年1月26日	イヨボヤの里開発公社 縄文の里・朝日 館長 河崎 昭一	上野遺跡出土土口土器 3点	令和6年度春の企画展「宴会する縄文人」で展示	令和6年1月23日
29	掲載	令和6年1月26日	イヨボヤの里開発公社 縄文の里・朝日 館長 河崎 昭一	埋文にいがた第122号 上野遺跡出土 土口土器 写真1点	令和6年度春の企画展「宴会する縄文人」図録、ホームページ、X、Facebook、noteに掲載	令和6年1月23日
30	掲載	令和6年2月13日	日本経済新聞 編集委員 竹内 善治	『海をわたったヒスイ』展示図録 ヒスイ製小珠・垂玉 写真 6点	日本経済新聞 日曜版「美の粋」に掲載	令和6年2月8日
31	貸出	令和6年2月13日	新潟県立自然科学館 館長 赤池 学	第28集 木崎山遺跡 瓶、土師器甕 2点 第29集 城之腰遺跡 縄文土器 1点  合計3点	常設展示「稲のきた道」パッケージおよび「新潟県のおい たち」>「平野形成の時代」で展示	令和6年2月4日
32	掲載	令和6年3月1日	長岡市立科学博物館 館長 小熊 博史	『海を渡ったヒスイ』展示図録 ヒスイ製・滑石製大珠 写真 1点 ヒスイ製大珠 写真 1点	『長岡市立科学博物館研究報告』第59号 小熊博史「新たに 確認された縄文時代の大珠について - 長岡市藤橋遺跡周辺 と岩野原遺跡の事例 -」に掲載	令和6年2月28日 長教博第269号
33	掲載	令和6年3月7日	佐渡博物館 館長 池田 哲夫	新潟県文化財報告書第一(考古編) 千種 写真2点	考古コーナー展示解説パネルに掲載	令和6年3月1日 佐教佐セ第609号
34	掲載	令和6年3月7日	株式会社ネクサス 鈴 木亜樹	第173集 大角地遺跡 ヒスイ製 石 写真1点 小川忠博氏撮影	テレビ東京「開運!なんでも探偵団」春の3時間半SP(令和 6年4月2日放送)内VTRに使用	令和6年3月1日
35	貸出	令和6年3月11日	南魚沼市教育委員会 教育長 岡村 秀康	第37集 金屋遺跡 土器22点、石製 品2点、土製品1点 第43集 長衣遺跡 土器15点  合計40点	南魚沼市民会館 歴史民俗資料展示室に展示	令和6年3月1日 南魚社教第565号
36	掲載	令和6年3月11日	新潟県醸造試験場 佐藤 圭吾	①令和4年度年報掲載写真…上野遺 跡近景写真1点、下割遺跡調査区全 景写真1点 ②発掘現場写真…上野遺跡4点、下 割遺跡4点  合計10点 ※②は申請者撮影	農林水産省補助金成果報告書 および 業界向け研究報告口頭発表スライド資料 に掲載	令和6年3月4日
37	貸出	令和6年3月18日	新潟県立歴史博物館 館長 小原 清文	第29集 城之腰遺跡、第55集 清水上 遺跡、第60集 一之口遺跡東地区、 第72集 清水上遺跡II、第78集 堂付 遺跡、第84集 中ノ沢遺跡、第92集 金塚遺跡、第92集 三仏生遺跡、第 133集 青田遺跡、第249集 大武遺跡  合計7,170点	常設展示室「新潟県のあゆみ」 「縄文文化を探る」に展示	令和6年3月12日

件数	目的	許可日	申請者	資料内容	使用目的	備考
38	貸出	令和6年3月19日	柏崎市教育委員会 博物館長 西巻 隆博	第125集 下沖北遺跡 石鍋1点	柏崎市立博物館の常設展示資料とするため	令和6年3月15日 博第5144号
39	貸出	令和6年3月21日	兵庫陶芸美術館 館長 三木 哲夫	第72集 清水上遺跡Ⅱ (報告書未記載) 縄文土器片20点	ワークショップ、小学校の社会科授業の教材として利用	令和6年3月14日
40	貸出	令和6年3月22日	阿賀町教育委員会 教育長 遠藤 佐	第73集 上ノ平遺跡C地点 石器 16点 第132集 吉ヶ沢遺跡B地点 石器 10点	阿賀町郷土資料館常設展示(旧石器時代展示コーナー)で 展示	令和6年3月15日 阿教社第22号
41	貸出	令和6年3月25日	聖籠町教育委員会 教育長 近藤 朗	第53集山三賀Ⅱ遺跡 土師器甕 1点 須恵器皿 3点(報告書未記載) 須恵器蓋 1点(報告書未記載) 土鏝 5点(報告書未記載) 合計10点	山三賀集落公会堂で地域の文化財資料として展示	令和6年3月15日 聖社第430号
42	貸出	令和6年3月29日	魚沼市教育委員会 教育長 樋口 健一	第55集 清水上遺跡 土器 4点 第72集 清水上遺跡2 土器 6点 合計10点	魚沼市中央公民館(堀之内公民館)ロビーで常設展示	令和6年3月28日 魚生第605号

### 3 分布・試掘確認調査事業

#### (1) 概要

令和5年度は分布調査を2件（第1表）、試掘・確認調査を9件、11か所で実施した（第2表）。

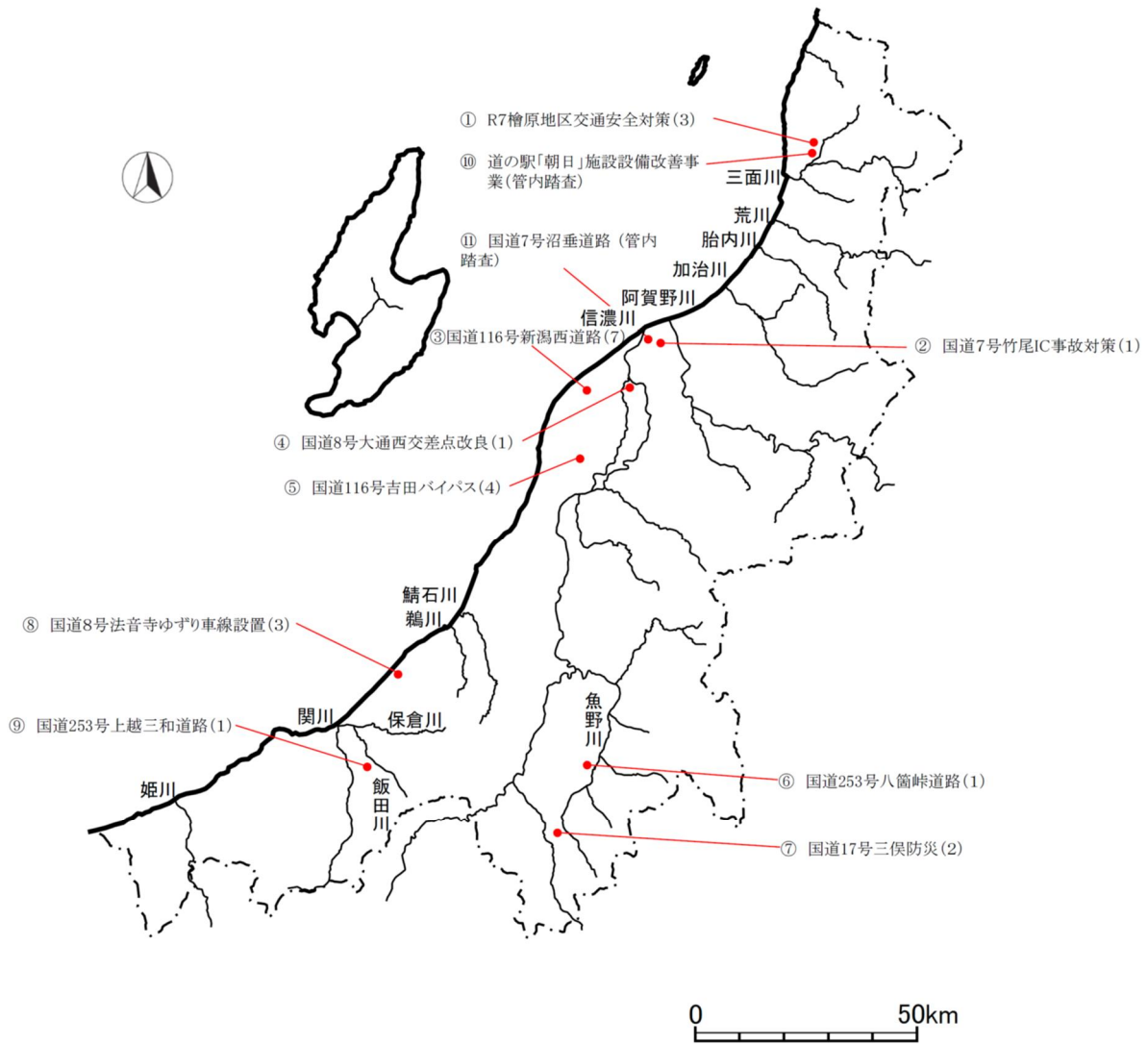
第1表 分布調査一覧

事業者	調査種別	事業名	位置番号	所在地・地区名	調査期間	備考	
国土交通省	羽越国道	踏査	道の駅「朝日」施設設備改善事業	㊹	村上市猿沢	9月7日	試掘調査必要
	新潟国道	踏査	国道7号沼垂道路	㊺	新潟市中央区万代・沼垂	3月4日	試掘調査必要

第2表 試掘確認調査一覧

事業者	調査種別	事業名	位置番号	所在地・地区名	調査期間	調査		
						実績面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	
国土交通省	羽越国道 河川	試掘	国道7号檜原地区交通安全対策	①	村上市檜原	9月20・21日、10月24日 (3日間)	1,290	49
		実施：1件1か所					小計	1,290
	新潟国道	試掘	国道7号竹尾IC事故対策	②	新潟市東区竹尾	6月19日(1日間)	1,000	54
		試掘	国道116号新潟西道路	③	新潟市西区保古野木	11月6日～10日、14・15日 (7日間)	18,088	428.5
		試掘	国道8号大通西交差点改良	④	新潟市西区大通	9月27日(1日間)	824	27
		試掘	国道116号吉田バイパス	⑤	燕市吉田吉栄	12月5日～8日(4日間)	11,798	167
		実施：4件4か所					小計	31,710
	長岡国道	試掘	国道253号八箇峠道路	⑥	南魚沼市金屋・余川	8月1日(1日間)	650	46.75
		試掘	国道17号三俣防災	⑦	湯沢町三俣・八木沢	8月2・3日(2日間)	1,480	41
		実施：2件4か所					小計	2,130
	高田河川 国道	試掘	国道8号法音寺ゆずり車線設置	⑧	上越市柿崎区法音寺	7月4日～6日(3日間)	2,610	88
		試掘	国道253号上越三和道路	⑨	上越市北田中	5月26日(1日間)	266	27
		実施：2件2か所					小計	2,876
	実施：9件11か所					合計	38,006	927.35

## (2) 調査位置図



※事業名の後に付した( )内の数値は調査日数

### 試掘確認調査位置図

(数字は第2表の所在地・地区名の番号と対応)